

第4回（平成23年）定時社員総会

平成23年5月19日に学士会館にて、第4回定時社員総会が開催されました。
なお、出席58社、議長委任53社、計111社、欠席5社、議決権総数116社でした。

《野崎正和代表理事 挨拶》



東日本大震災及び原発事故で被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。また、会員の皆様に義援金をお願い致しましたが、多くの皆様にご協力頂き誠にありがとうございました。

さて、私は新春セミナーで、「今年は協会設立10年の節目の年であり、再生元年と致しましょう」と訴えさせて貰いましたが、その後まもなく3月11日に東日本大震災、引き続いて原発事故が起きました。これは、トンネル工事に例えるなら、突然の予期せぬ大出水の直後に切羽の大崩落に見舞われたようなものです。このような場合における問題解決は、「一致団結、総合力駆使、そして粘り強く」だと思っております。

ところで、建設経済研究所が最近公表した建設投資見通しは、その予算の大半は東日本の復旧・復興にあてられるもので、新規トンネル工事等への公共事業予算は昨年度より更に厳しくなるものと思われまます。このような厳しいなかで、我々にとって少し光がさして来たと思えるニュースは、JR東海が計画している「リニア中央新幹線」です。

我々の持てる技術力を更に磨き、存分に力を発揮し、社会貢献できるチャンスでもあります。ここで、団結を更に堅固にし、この難局を乗り越えるため、一条の光を我々の手でしっかり捉えようではありませんか。



《木部嘉隆副会長 開会挨拶》

早いもので、当協会はこの7月で設立10年を迎える事になります。新宿のレンタルルームで協会設立する為に何度も話し合いを行ったり、足が棒になるまで事務所探しをしたのが、つい先日の様に懐かしく思い出されます。



お蔭様で皆様の多方面に亘る御支援御協力を賜り、一般社団法人の認可も頂き此処まで進んで来る事が出来ました。重ねて御礼を申し上げます。

本来であれば、設立10年を皆様と一緒に祝いたいところではありますが、ご承知のように現在日本は未曾有の大震災により、復旧に向けて動き出したばかりであります。日本が元気を取り戻せるよう微力ではありますが皆様と頑張りたいと思っております。

《承認された議案》

第一号議案	平成二二年度事業報告
第二号議案	平成二二年度収支決算報告 並びに監査報告
第三号議案	役員選任並びに新任※1
第四号議案	会費規定一部改定※2
第五号議案	役員退職金支給基準
第六号議案	人材確保育成事業に関する 助成金支給規定※3
第七号議案	平成二三年度事業計画
第八号議案	平成二三年度収支予算

※1 新任役員

金子 順	(株)金子組
山崎治郎	キャタピラー・ジャパン(株)
猿橋三郎	古河ロックドリル(株)
西村 章	(株)流機エンジニアリング

※2 会費の納入方法について

年一回一括納入を、年2回の分割納入も可能とされました

※3 助成金支給制度の新設について

人材確保育成事業の一環として、講習会等に従業員を参加させた会員企業に対し、協会が助成金を支給するものです

《菊池二二年副会長 閉会挨拶》



今回の東日本大震災で、私は改めまして地球は生きており、その生命力を叩きつけたような気がしております。そして、追撃ちをかけるように、人間が作り出した核・放射能被害という巨大な不安がございます。

しかし、我々日本人は今まで何度もこの様な大惨事を乗り越えて来た国民であり、古くは関東大震災、戦災そして阪神淡路大震災と数々の大災害から見事に復活を成し遂げて参りました。その復興の中心となったのが建設産業であり、我々こそ積極的に取り組む必要があると強く感じております。

依然として厳しい経営環境は続きますが、当協会では会員の皆様方の視点に立って、皆様が抱える課題に対処していきたいと考えております。

大震災復興支援会

《野崎正和代表理事 挨拶》

今、東北は非常に大震災で苦勞をしています。その中で、日本の中小企業がこの震災の影響で仕事をストップすれば、世界の産業に影響する事がわかりました。ヨーロッパ・アメリカの業界も、早く日本が復興しなければ、自分達の経営にかかわると聞いております。日本の中小企業専門業者のプロフェッショナルの技術が世界に通用している事を改めて認識しました。

先日、東日本大震災復興の為の義援金をお願いしましたところ、多数の義援金が集まりました。有難う御座います。後程、日本赤十字社へ贈呈させて頂きます。一人ひとりの力が日本を支えているのだと改めまして感じました。

現在、福島第一原発が非常に問題になっており、なかなか先が見通せない状況ですが、たくさんのトンネル専門協所属会社従業員の人達はその復旧作業を行なっているのだと思います。トンネル専門協所属従業員の皆様は多能工で、一つの作業だけではなくガス溶接・玉掛・重機運転等の色々な作業が出来ますので、現地の人達からは、トンネル専門協の人達が優秀であることを改めて感じてもらっています。

我々はトンネル技術者として益々腕を磨いて若手を育て、日本の将来を担って行ける建設業界を一生懸命育てていきたいと思っております。

また、今年も皆様と一緒に東北復興及び全国のトンネル、更に、世界のトンネルに挑戦して日本の技術を世界にアピールしたいと思っております。

《東日本大震災義援金贈呈式》

野崎会長より株式会社日刊建設通信新聞社 執行役員企画局長 池村祥信様に託し日本赤十字社へ東日本大震災義援金として120万円贈呈しました。



寄付額：会員65社、協会
合計120万円

「ガンパロー日本」
「ガンパロートンネル専門協」

ご協力ありがとうございました。

秋季セミナー

《野崎正和代表理事 挨拶》



9月12日にメルパルク東京で秋季セミナーが開催されました。

早いもので3月11日の東日本大震災より6か月経ちました。ガレキの山はだいぶ片付いてきたようですが、処理を終えるにはまだまだ問題が山積みです。特に福島第一原発の問題はなかなか解決できるものではないです。被災された東北の皆様には改めて御見舞申し上げます。又、災害は東北の皆様だけでなく、台風12号の大雨により大きな被害がでており、和歌山県、奈良県の皆様、又、被災された会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

その他にも今年は猛暑で御高齢の方が多数熱中症により亡くなられております。これらを考えますと、今、地球は異常気象の真只中と言わざるを得ないと思っております。

一方、目を気象から政治に移しますと政権交代後はこの2年あまりで、民主党3人目の野田首相が誕生しました。政治の世界も異常現象と言わざるを得ません。経済においては超円高の異常現象、何もかも異常で困るのは我々国民です。又、その中でも我々建設業に携わる人間ではないかと思っております。この災害復旧で多少の工事は出てくるでしょうが、復旧が終わればまた厳寒の季節が待っていると思っております。是非とも野田内閣には、災害復旧と同時に景気の回復もお願いしたいものです。

今、当協会は行政等に対して価格競争（低価格）の改善を訴えています。国交省では落札率が85%以上となってきました。先日、NEXCO（中日本・東日本・西日本）の3人の社長とお会いしまして、是非、専門業者との意見交換をお願いしたところ快く引き受けていただきました。トンネル専門協、(社)日本機械土工協会、プレストレスト・コンクリート工事業協会の3協会で見聞交換会を行います。我々専門業者の実情、特にNEXCO発注工事では赤字現場が多くなってきている実態を説明したいと思っております。

調査研究報告

1. 「トンネル施工機械管理マニュアル」 商品開発改良委員会
施工時に使われる各種機械の管理計画や関連法規、安全対策に関する説明と、機械トラブルの要因分析や点検整備方法などをまとめた。
2. 「トンネル技術・技能の伝承～その1坑口付け～」 技術・情報委員会
現在主流となっているNATMによる一般的な「坑口付け」の施工と、在来工法による施工方法を比較し、支保工の考え方などを解説した。また、山の神等さまざまな風習も記載し、化粧木の作り方や土のうの積み方、化粧木の据え付け方法なども解説した。

ビデオ放映「あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑」

NHK Eテレ 2011年6月30日放送
「トンネル掘削作業員 山を貫き町をつなげる」
横山工業㈱ 濱岡哲司さん 出演

トンネル工事および現場での生活がうまく表現されていたと思います

行政講演

「建設労働をめぐる情勢と雇用改善対策等について」

厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室長 兼 介護労働対策室長 福士 亘 様

福士様に建設業における雇用情勢及び第8次建設雇用改善計画の概要について、また教育訓練等の助成金についてご講演頂きました。



1、建設労働をめぐる情勢

クイズ

- ①全産業就業者数の内、建設業の就業者数の占める割合は？
A. 6% B. 8% C. 10% 答えB
- ②全産業就業者平均年齢は41.3歳ですが、建設業就業者の年齢構成（生産労働者）は？
A. 41.4才 B. 43.7 C. 46才 答えB（高齢が進んでいる）
- ③新規卒卒者の建設業への就職率は
A. 3% B. 5% C. 8% 答えB（3万1千人）
- ④建設業労働者の総実労働時間は！（平成22年度）
A. 1,754時間 B. 1,938時間 C. 2,048時間 答えC

2、建設雇用改善施策の概要等

- 1) 建設労働者の雇用改善の必要性
- 2) 建設労働者の雇用の改善等に関する法律に基づく施策
- 3) 建設雇用改善計画の策定
- 4) 雇用管理の改善に向けた基本的事項の遵守
- 5) 建設事業主に対する相談・援助・啓発等の推進
- 6) 建設雇用改善助成金の活用による雇用改善・能力開発支援
- 7) 建設雇用改善助成金の活用による雇用管理の改善
- 8) 建設労働者緊急雇用確保助成金

若年労働者の職業意識

会社の選択理由 2010年版

- ①自分の能力・個性を生かせるから
 - ②仕事が面白いから
 - ③会社の将来を考えて
- ・勤務先の企業の事よりも自分の適性や興味が重視されている。
・また、企業の発展に自らの職業人生をかけるという事ではなく、自分の遣り甲斐を感じて能力形成をして行けるかどうかに着目してる。

秋季セミナー懇親会ご来賓の皆様

厚生労働省
労働基準局 安全衛生部
化学物質対策課長 半田有通 様



厚生労働省
職業安定局 建設・港湾対策室長
兼 介護労働対策室長
福士 亘 様



厚生労働省
労働基準局 安全衛生部
建設安全対策室長 中屋敷勝也 様



厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室長補佐 佐藤 秀行 様
" 労働基準局 安全衛生部 建設安全対策室 技術審査官 船井雄一郎 様
(独) 労働安全衛生総合研究所 建設安全研究グループ、工博 吉川 直孝 様



来賓挨拶の後、全国から参集された会員の皆様は、来賓の皆様との名刺交換や、歓談して頂くなど、大変有意義な時間を過ごされました。

平成23年度第1回登録トンネル基幹技能者講習

7月12日～15日に西日本会場(兵庫県三田市)にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。31名の受講者は7月28日に行われた基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。



修了証番号	所属組織名	氏名
第11070322	榎木下工務所	三石 忠志
第11070323	榎木下工務所	木下 承治
第11070324	木部建設㈱	武村 健
第11070325	榎興和建設	上口 徹也
第11070326	榎興和建設	官嶋 新吾
第11070327	榎興和建設	藤井 健司
第11070328	榎小宮建設	小宮 健一
第11070329	榎すばる建設	成田 誠
第11070330	榎すばる建設	三関 欣晃
第11070331	榎すばる建設	矢石 直直
第11070332	成豊建設㈱	金子 浩太
第11070333	成豊建設㈱	竹市 浩史
第11070334	成豊建設㈱	佐藤 潤一
第11070335	拓進建設㈱	荒巻 雅宣
第11070336	拓進建設㈱	清川 勝彦
第11070337	鉄名建設㈱	坪内 健

修了証番号	所属組織名	氏名
第11070338	榎原工業	土佐 典之
第11070339	榎ハリマ工務店	福田 修
第11070340	北新建設㈱	立花 孝文
第11070341	横山工業㈱	林 省二
第11070342	横山工業㈱	上杉 博貴
第11070343	横山工業㈱	細川 智広
第11070344	吉岡建設㈱	松下 佳広
第11070345	吉岡建設㈱	温水 哲美
第11070346	吉田直土木㈱	加藤 智寛
第11070347	吉田直土木㈱	河村 英樹
第11070348	吉田直土木㈱	喜多 慎市郎
第11070349	吉田直土木㈱	富高 知人
第11070350	吉田直土木㈱	堀越 誠二
第11070351	吉田直土木㈱	吉田 克己
第11070352	横信建材工業㈱	横須賀 徹

平成23年度第1回登録トンネル基幹技能者特例講習

7月25日に当協会にて登録トンネル基幹技能者特例講習が開催されました。2名の受講者は7月28日に行われた基幹技能者育成委員会にて修了が承認されました。

修了証番号	所属組織名	氏名
第11070320	成豊建設㈱	川本 啓一
第11070321	成豊建設㈱	茂原 雄一郎

新規入会(平成23年4月～)

- 入会 ㈱セイシヨク 代表取締役 梅下 弘 (食品販売)
- エフティーエス㈱ 代表取締役 比嘉さゆり (吹付機、トンネル計測器販売及びリース)



事務局便り

- NTS会報26号をお届けします。今回は5月の定時社員総会、7月の第1回登録トンネル基幹技能者講習会及び特例講習会、9月の秋季セミナーを取り上げ、記事といたしました。
- 行事予定
 - ・国内トンネル工事現場見学研修会(栗子トンネル) 平成23年10月14日(金)～10月15日(土)
 - ・トンネル施工機械現場管理要員研修 平成23年10月23日(土)～10月24日(日)
 - ・登録トンネル基幹技能者講習(東日本会場) 平成23年11月 8日(火)～11月11日(金)
 - ・新春セミナー・賀詞交歓会(メルパルク) 平成24年 1月31日(火)

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: <http://www.tunnel.jp>